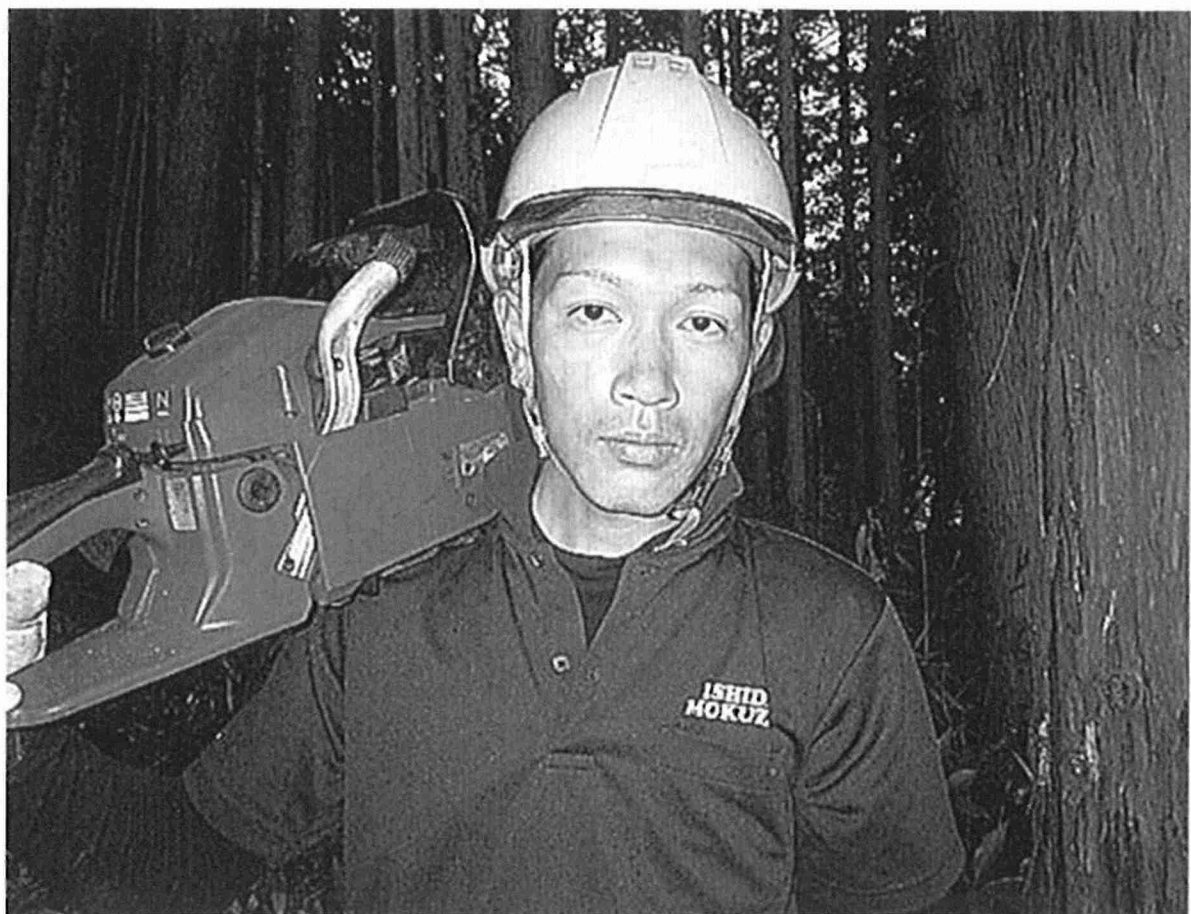


緑の担い手

緑の雇用研修を受講して思う事

(有)石田木材

白田 智章



私は、今の会社に就職する前は工場で働いていました。転職のきっかけは、室内での機械に囲まれた環境に息苦しさを感じたからです。ハローワークで屋外の仕事を探したところ今の職場での募集を見つけ、就職しました。

勤めて感じたことは、思っていた以上に危険が多い仕事だと思いました

た。初めに刈払機を使用した下刈り、チェーンソーを使用した伐倒作業について、安全に作業するにはどうしたらいいか一から指導を受けました。勤務してから半年後位に、会社から「緑の雇用研修」がある事を伝えられ、受講する事になりました。

緑の雇用研修では、実際に起きた事故の報告を聞いたり、映像を見ることで注意すべき点を再確認する事が出来ました。

伐倒作業では、倒れる方向や仕事の流れも考えなければいけません。傾斜や地形によりその場の状況が違うのでよく考えて伐倒します。自分の思った方向に倒れると気持ちがいんです。また、安全性や効率性も大事だと思います。

これからは、仕事の幅も広まり高性能林業機械の操縦に必要な資格など覚えることがたくさんあります。

緑の雇用研修は、二年目をむかえました。まだ研修内容については分かりませんが、楽しみです。

これから研修を受ける事で、先輩たちに少しでも技術が近づくことが出来ればいいなと思っています。この仕事について、経験を重ねる事で慣れがでてしまつて事故が起きるという事を聞いた事があります。作業に慣れてきても、初心を忘れず、研修で学んだ事、先輩方の助言をよく聞いて、安全に仕事をしていきたいと思っています。